

児童生徒の学習習慣の確立に向けて

家庭での支えが子供を伸ばします



※令和6年度全国学力・学習状況調査経年変化分析調査及び
保護者に対する調査結果資料

令和7年11月

茨城県教育庁学校教育部義務教育課

国では、経年で学力状況の変化を調査しています。令和6年度の調査結果※によれば、「小学校国語・算数、中学校国語・英語においてスコア（学力状況）の低下が見られた」、「学校外での勉強時間は前回調査から減少した」と報告されています。さらに、このような状況について、児童生徒の学校の授業での理解度、保護者の意識や働きかけなどが、児童生徒の学校外での過ごし方に影響を与えている可能性があるとしています。

お子様の学習習慣を確立するためには、学校だけでなく、保護者の方の働きかけや学習を支える雰囲気づくりも大切です。お子様が落ち着いて学べる環境づくりについて振り返り、力を伸ばしていけるようにサポートをお願いします。

家庭で子供が学習に取り組む雰囲気づくりを考えるポイント

1	子供の好きな教科、得意な教科を知っている。	☐ はい ☐ いいえ
2	新聞やテレビのニュースなどの話題をもっている。	☐ はい ☐ いいえ
3	学習への関心や意欲が高まる会話や声掛けをしている。	☐ はい ☐ いいえ
4	家族で読書をする習慣がある。	☐ はい ☐ いいえ
5	子供ができたこと、挑戦したことをほめている。	☐ はい ☐ いいえ

●●学習習慣の定着、進んで学ぶ子供を目指して●●

1 自分で学習計画をつくり、決めたことをやり抜く姿を見守る。

子供が自ら学習計画をつくり、自分で決めたことに基づいてやり抜くことが大切です。取り組む姿を見守り、応援して、子供の主体性を育てていきましょう。

学習計画をつくる際には、発達段階によって保護者の方のサポートが必要な場合もあります。お子様から学校での授業の進み具合を聞き取りながら無理のない計画を一緒にづくり、計画にそった取組が継続できるようにしましょう。

2 テレビゲーム、スマートフォン使用時間のルールを一緒につくる。

テレビゲーム、スマートフォンの使用時間のルールをお子様と一緒に決め、時間の使い方を大切にする意識を育みましょう。

その際、お互いに納得できるよう、話し合って約束をつくることを大切にしましょう。

【ルールの例】・食事中、入浴中に使わない。（使用する場所や時間を決める。）

・無断でアプリをダウンロードしない。 ・許可なく写真や動画を撮影して投稿しない。

・夜●時以降は、電話の使用、メールの送受信をしない。（「●」の数字は、各家庭で決める。）

3 読書の習慣を定着させ、読書の幅を広げられるようにする。

読書は、全ての学びの基盤であり、伝える力や新しいものを考える力を育むことにつながります。大人が読書をする姿を見せるなど、子供の読書への関心を高める雰囲気をつくりましょう。

また、読書の幅を広げるために、様々な分野の図書に触れられるようにしましょう。